

「本を企画してパラダイムを変える」

山本 美子（福岡キャンパス・看護師）

白石先生の講義では、様々な発見があり、最後には「すごいな」の一言につきました。

例えば、傾聴は「相手の話している内容そのものではなく、そう話さざるを得ない感情に焦点を当てるといった傾向がある。しかし、それは相手を尊重しているか」と言われました。

察することが重要とする文化を自然と身につけている私たち看護師もよく「傾聴」を使います。

私たちは、察することばかりに気をとられ事実の重要性に気づかずにきたのかもしれないと気づかされました。

「人間の尊厳」についても、「はじめから備わっているものではない。その人を尊厳を持って見る視線によって、はじめて尊厳は生まれる」と言われました。看護師の教育には欠かせない「尊厳をもって接する」ということをどのように伝えれば彼女（彼ら）は理解し、行動に繋げることができるかと考えていた私にとって「目からうろこ」でした。

発想の転換や自由に考えることが苦手な自分自身を今更ながら思い知りました。これまで普段当たり前とできてきた事を本当にそうだろうかと考えることから始めなければと痛感しています。

どこか飄々として、やや投げやりな感じもするけれども、本や言葉に対する熱い情熱が感じられる先生の講義はすごく楽しかったです。

最後に、「本を作るためには、圧倒的なエネルギーが必要であり、正義と商売が同時に成立する論理を探す」この、すごく難しい事をやっている著者や編集者の方は本当に凄い人達なのだなと感心しました。

講義ありがとうございました。